

講師の紹介

山本 久雄 (やまもと ひさお)



専門分野

- 実務家(不動産・住宅・介護・介護予防)
- 空き家活用及び対策プロデュース
- 地方創生支援(空き家活用・地域雇用創出・移住支援)

プロフィール

一般社団法人日本シェアハウス協会 会長(代表理事)
シェアプロデュース株式会社 代表取締役

1974年北海道工業大学建築学科卒業。同年積水ハウス入社。1982年三井不動産～三井ホームと26年間不動産・住宅業界に従事。三井ホーム在職中は20年間で450棟の注文住宅の累積販売記録達成。今も破られていない。また在職中には1989年「民間地震対策研究会」・「高齢社会研究会」・NPO 法人「福祉と防災推進サポートネット」を立ち上げ活躍。2000年介護保険開始と同時に退社し**我国初**の介護専門コンサルタント会社「株式会社福祉村」を起業し介護予防や地域連携等、新たな発想で様々なビジネスモデルを開発。**2008年シェアハウス業界に転進。2年間実務を経験し2010年に独立しシェアハウス開業を総合支援する「シェアプロデュース株式会社」とシェアハウス業界初の法人団体「一般社団法人シェアハウス振興会」設立。2013年に一般社団法人日本シェアハウス協会に改名し全国展開を開始。現在は全国各地に支部を開設し地域連携で地方創生も応援。**

著書・その他

『介護予防の時代 これからのデイサービス』筒井書房

『これからのシェアハウスビジネス』住宅新報社、三浦展氏と共著。

「週間東洋経済」2014年3/1号『ひとり生きる 単身社会のリアル』内

「週刊東洋経済」2013年12/14号『介護ショック 2015年から介護保険増でどうするお金と住まい』内

他、出筆多数

各地の「講演」テーマ例

- これからの不動産「再生・賃貸・分譲・投資」事業
 - これからの「空き家・空き室」活用の不動産最新ビジネス
 - 「空き家・空き室」活用で地域の活性化に貢献
 - サービス付き高齢者住宅の次は「多世代共生型賃貸」の時代
 - 増税時代！相続対策の切り札は「中古住宅」の活用
 - 不動産事業の様々な「新モデル」誕生！
 - 今後の大市場は「アクティブシニア向け賃貸住宅」だ！
 - 建設費高騰の時代、益々「高収益賃貸事業」が重要
 - 土地有効活用の新手法「シェアハウス」と「シェアホテルズ」
 - これからの「地域オンリーワン戦略」とは
 - 不動産流通(仲介)ビジネスの新発想！
 - これからは「健康支援」と「雇用支援」が大きなビジネスへ
 - 日本の元気なシニアよ！地域の為に立ち上がろう！
 - 空室解消の新手法「副収入付賃貸」とは
 - これから始まる「地方創生」を地域連携で取り組む方法
- その他多数